

HiKOKI

取扱説明書

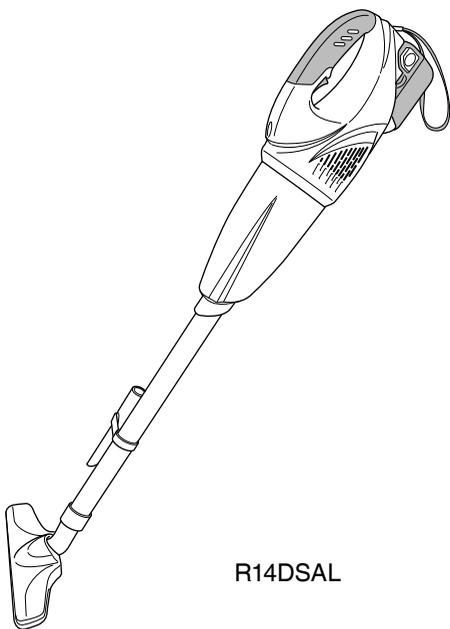
用途

- 作業場での仕上げの掃除
- ビル、ホテルの掃除
- 自動車屋内の掃除

コードレスクリーナ

14.4 V R 14DSAL [乾式] 18 V R 18DSAL [乾式]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
USB 機器との接続時のご注意	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	11
標準付属品	13
別売部品	14

はじめに

蓄電池の取りはずし・取付け	14
ご使用前の点検	15
掃除する	17
ごみを捨てる	19
蓄電池を充電する (UC18YSL3)	21
USB 機器を充電する (UC18YSL3)	23
蓄電池を充電する (UC18YDL)	25
USB 機器を充電する (UC18YDL)	27

使い方

保守・点検	29
故障診断	33
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、**⚠注意**、**注**の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑤ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスクリーナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 以下のものは吸わせないでください。
 - 水、油などの液体、および湿ったごみ。
 - 金属の切削、切断作業時に発生する研削火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温の物。
 - 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じんや、コンクリート粉などの微粉じん。
火災やけがの原因になります。
- ② フィルタを正しくセットして使用してください。
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用しないでください。
モーター故障や、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① 本機は屋内用です。雨の中で使用したり、水や油などをかけたりしないでください。
本機は防水構造ではないため、故障の原因になります。
- ② 本体の吸入口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター故障の原因になります。
- ③ ノズルなどに異物がつまったまま運転しないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター故障の原因になります。
- ④ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

⚠️ 注意

- ⑥ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑨ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器 UC18YSL3 または、UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
14.4 V 蓄電池 (BSL14xx シリーズ) の場合：電池電圧約 8 V まで低下すると停止
18 V 蓄電池 (BSL18xx シリーズ) の場合：電池電圧約 10 V まで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中にコードレス工具にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⚠ 警告

- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

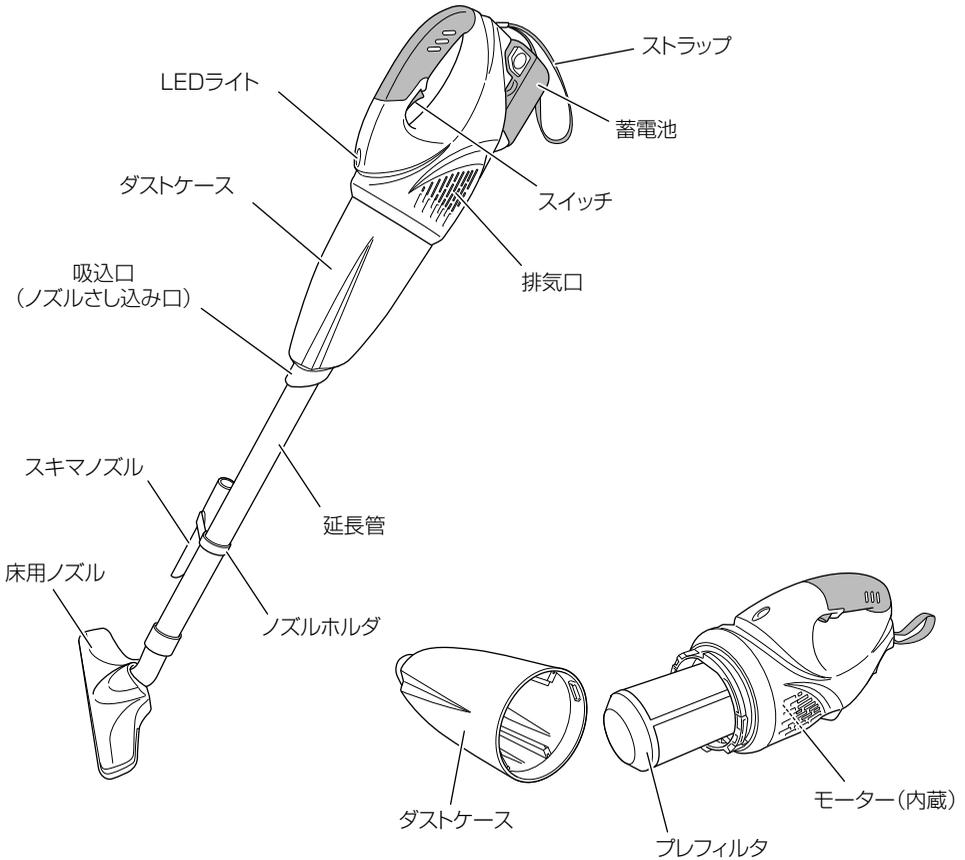


○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

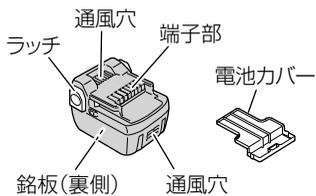
各部の名称

本体 【イラストは R 14DSAL です】



蓄電池

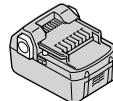
14.4V
(BSL1450)



14.4V
(BSL1460)



18V
(BSL1850)

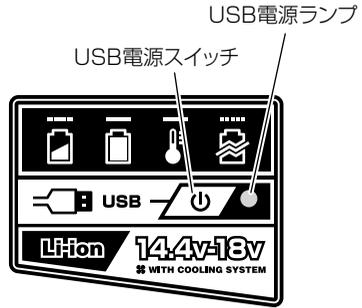
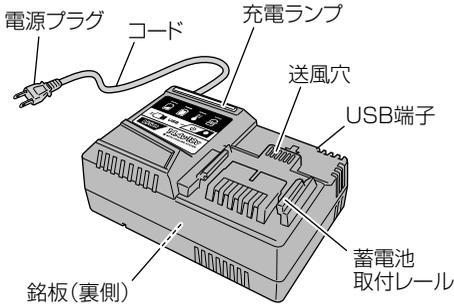


18V
(BSL1860)

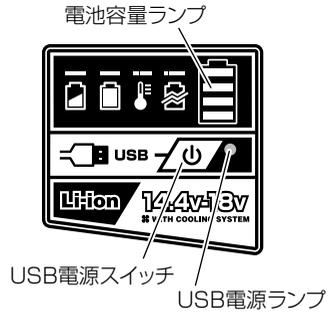
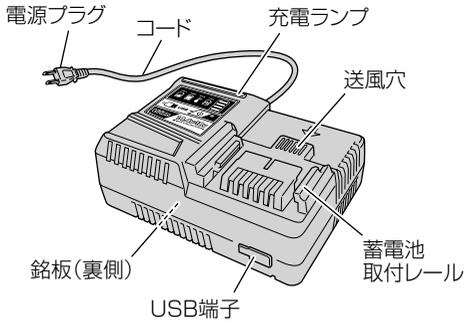


充電器

【UC 18YSL3】



【UC 18YDL】



仕様

1. 本体

形名	R 14DSAL	R 18DSAL
吸込み仕事率	35 W	40 W
集じん容量	560 mL {cc}	
連続使用時間*	約 42 分 (BSL 1460 装着時)	約 48 分 (BSL 1860 装着時)
モーター	直流モーター	
寸法 長さ × 幅 × 高さ (床用ノズル取付け時)	438 × 114 × 153 mm (969 mm)	458 × 114 × 153 mm (989 mm)
質量	1.3 kg (蓄電池装着時)	1.4 kg (蓄電池装着時)
LED ライト	白色 LED	

※ 連続使用時間は、蓄電池の状態などにより変わりますので目安としてください。

2. 充電器

形名	UC 18YSL3	UC 18YDL
入力電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
充電電圧	蓄電池：14.4 V または 18 V、USB 端子：5 V	
充電可能蓄電池	リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xx シリーズ)、18 V (BSL18xx シリーズ)	
蓄電池充電時間*1 [気温 20℃時]	6.0 Ah 品：約 38 分 5.0 Ah 品：約 32 分 4.0 Ah 品：約 26 分 3.0 Ah 品：約 20 分 2.5 Ah 品：約 25 分 2.0 Ah 品：約 20 分 1.5 Ah 品：約 15 分 1.3 Ah 品：約 15 分	6.0 Ah 品：約 30 分 5.0 Ah 品：約 25 分 4.0 Ah 品：約 20 分 3.0 Ah 品：約 15 分 2.5 Ah 品：約 25 分 2.0 Ah 品：約 20 分 1.5 Ah 品：約 15 分 1.3 Ah 品：約 15 分
蓄電池充電電流	6.0Ah, 5.0Ah, 4.0Ah, 3.0Ah品：8.0A 2.5Ah, 2.0Ah, 1.5Ah, 1.3Ah品：6.0A	6.0Ah, 5.0Ah, 4.0Ah, 3.0Ah品：12.0A 2.5Ah, 2.0Ah, 1.5Ah, 1.3Ah品：6.0A
USB 端子充電電流	2 A	
コード	2 心ビニールコード	
質量	0.6 kg	0.8 kg
使用温度範囲*2	-10℃～40℃	
冷却	対応 (ファン付き)	
ブザー音	あり	

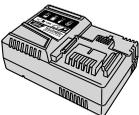
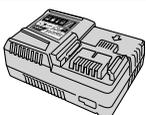
※1：蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2：周囲温度が 0℃未満のときは、充電時間が長くなる場合があります。

3. 蓄電池

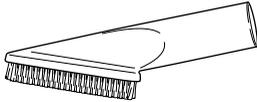
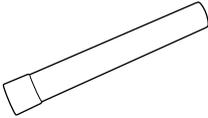
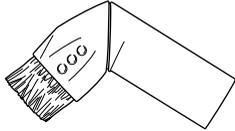
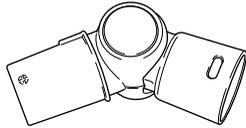
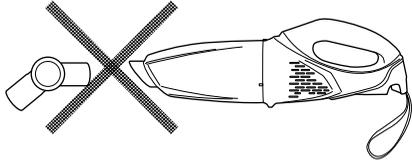
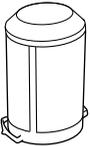
形名	BSL 1450	BSL 1460	BSL 1850	BSL 1860
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池			
電池電圧	14.4 V		18 V	
容量	5.0 Ah	6.0 Ah	5.0 Ah	6.0 Ah
冷却	対応			

標準付属品

工具本体 仕様 品名・形名	R 14DSAL			R 18DSAL		
	LJC	LYP	NN	LJC	LYP	NN
床用ノズル 	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
延長管 (ノズルホルダ付)  ノズルホルダ	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
スキマノズル 	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
蓄電池 BSL 1450 	1 個 (本体装着)	—	—	—	—	—
蓄電池 BSL 1460 	—	1 個 (本体装着)	—	—	—	—
蓄電池 BSL 1850 	—	—	—	1 個 (本体装着)	—	—
蓄電池 BSL 1860 	—	—	—	—	1 個 (本体装着)	—
充電器 UC 18YSL3 	1 台	—	—	1 台	—	—
充電器 UC 18YDL 	—	1 台	—	—	1 台	—
電池カバー 	1 個	1 個	—	1 個	1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

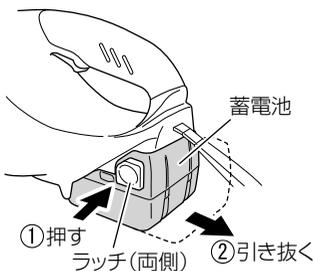
<p>フレキシブルホース</p> 	<p>棚用ブラシ</p> 
<p>延長管 (ショートタイプ)</p> 	<p>ラウンドブラシ</p> 
<p>フィルタ</p> 	<p>アングルジョイント</p>  <p>※ アングルジョイントは本体に直接取付けられません。 延長管などとセットで使用してください。</p> 
<p>プレフィルタ</p> 	

はじめに

蓄電池の取りはずし・取付け

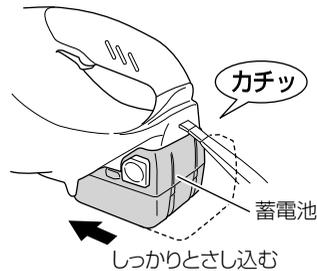
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。

取付けるとき



使い方

ご使用前の点検

⚠ 警告

点検・確認の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

● フィルタの確認

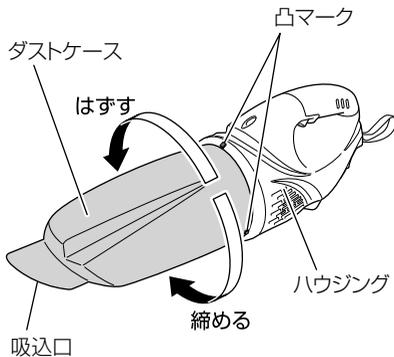
⚠ 注意

フィルタおよびプレフィルタは、必ず取付けてご使用ください。
けがや故障の原因になります。

フィルタが確実に取付けられているか、次の方法で確認してください。

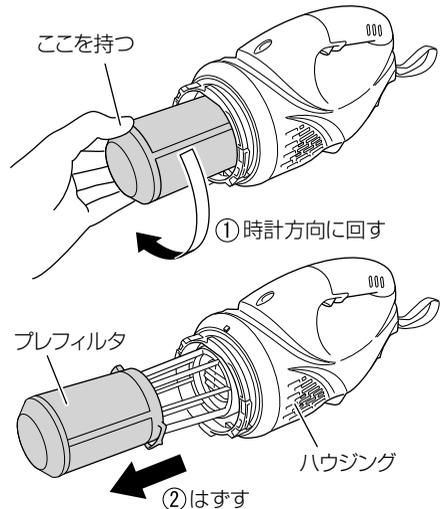
1 ダストケースをはずす

ダストケースを、吸込口側から見て反時計方向に約 120° 回し、ダストケースの凸マークとハウジングの凸マークを合わせて引抜きます。



2 プレフィルタをはずす

プレフィルタは、時計方向に回すとハウジングからはずせます。



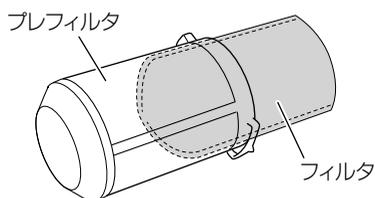
3

フィルタの確認

プレフィルタをはずして、フィルタが組み込まれていることを確認してください。

また、フィルタがめくれれたりしていないことを確認してください。

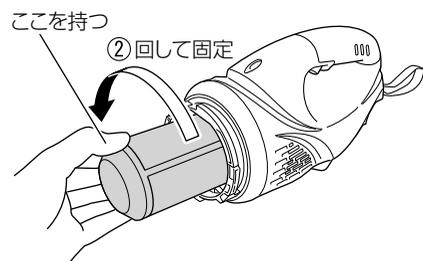
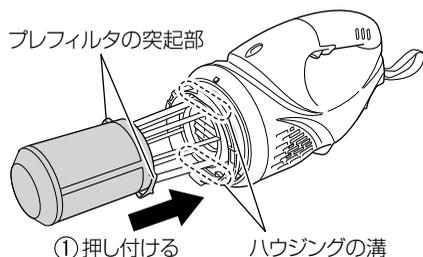
注 フィルタは正しくかぶせていないとファン部にゴミが入り、故障の原因になります。



4

プレフィルタを取付ける

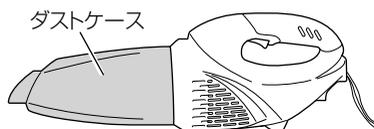
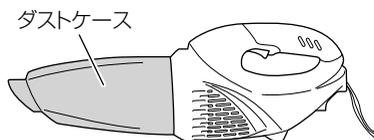
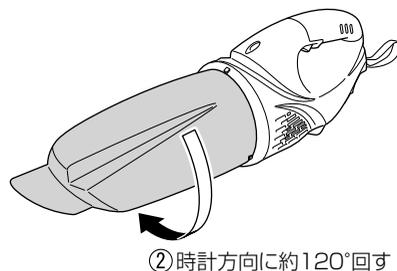
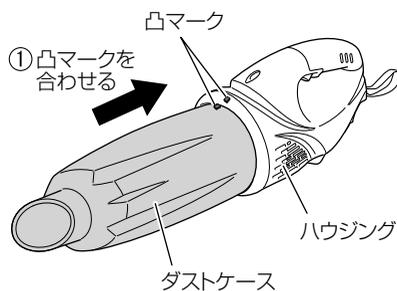
プレフィルタを取付けるときは、突起部を水平位置にした状態でハウジングに押し付け、プレフィルタの突起がハウジングの溝にしっかり固定されるまで回します。



5

ダストケースを取付ける

ダストケースの凸マークとハウジングの凸マークを合わせて組み込み、ダストケースを時計方向に約 120° 回します。



※ダストケースは上向きにも取付きます。

掃除する

- 作業場での仕上げの掃除
- ビル、ホテルの掃除
- 自動車屋内の掃除

⚠警告

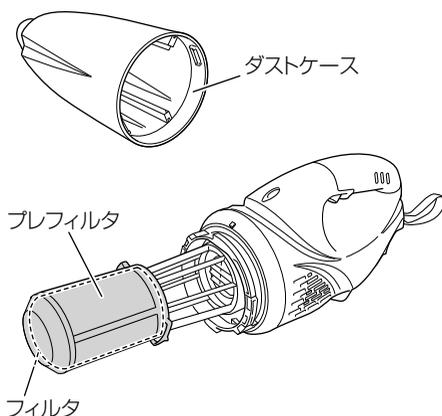
蓄電池の取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチが切れていることを確かめてください。

⚠注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- フィルタおよびプレフィルタは、必ず取付けてご使用ください。けがや故障の原因になります。

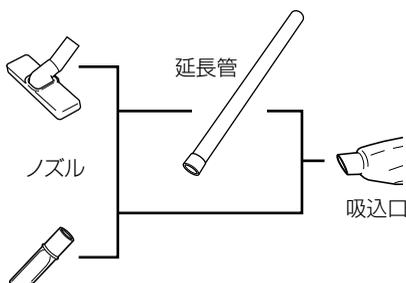
1 フィルターを確認する

フィルタが確実に取付けられているかどうか確認してください。(P.15「フィルタの確認」参照)

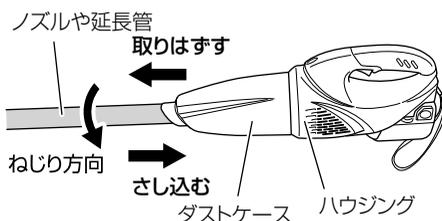


2 ノズルを取付ける

用途に応じて、本体の吸込口にノズルを挿入してください。ノズルなしでもご使用になれます。



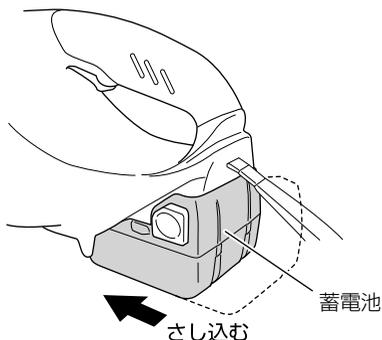
- 注** ノズルや延長管は、矢印の方向にねじりながらしっかりとさし込んでください。取りはずす場合も矢印方向に回してください。反対方向に回しますと、ダストケースがハウジングからはずれることがあります。



3

蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりとさし込んでください。



⚠️ 注意

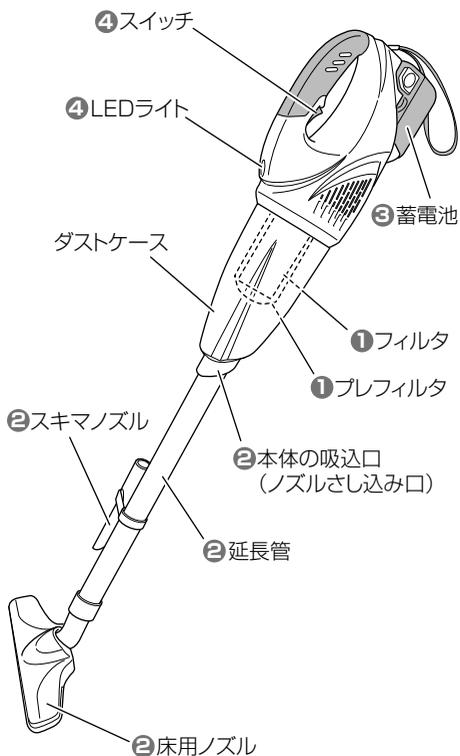
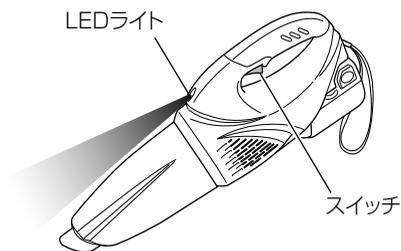
LEDライトをのぞき込んで、直接LEDライトの光を目に当てないでください。

LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

4

スイッチを入れる

スイッチを引くと、運転と同時にLEDライトが点灯し、はなすと停止と同時にLEDライトも消灯します。



ごみを捨てる

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。
- ダストケース部に強い衝撃を与えないでください。
変形、破損の原因になります。
- ダストケース内の粉じんは早めに捨て、本体、フィルターなどを常に清潔に保ってください。
吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生の原因になります。

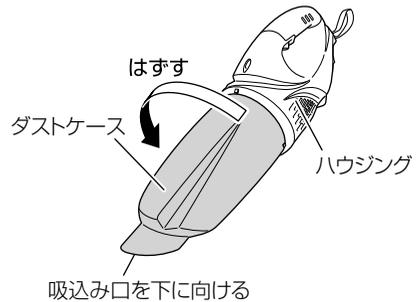
- 1 ダストケースを回して、ハウジングから引抜きます。
(P.15「フィルタの確認」参照)

- 注** ダストケースを取りはずす際、ごみがこぼれることがありますので、吸込口を下にしてください。

- 2 ダストケースのごみを捨てます。

- 3 ごみを捨てても吸引力が回復しない場合はプレフィルタおよびフィルタも掃除してください。
(P.29「フィルタの手入れ」参照)

- 4 フィルタ、プレフィルタおよびダストケースをハウジングに取り付けます。
(P.15「フィルタの確認」参照)

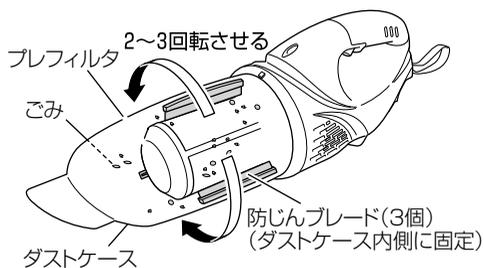


- 注** プレフィルタおよびフィルタは、正しく取付けていないと故障の原因になります。

効果的にごみを落とすには

本機は、ダストケースをはずすときにプレフィルタに付いたごみをかき落とす機構を内蔵しています。

より効果的にごみをかき落とすには、ダストケースを回転させる動作を繰り返すことにより(2~3回以上)、その効果は高くなります。



蓄電池を充電する (UC 18YSL3)

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

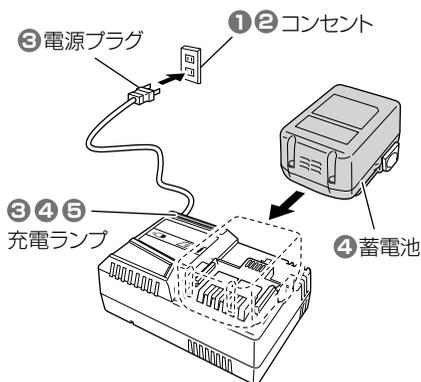
標準付属の充電器が UC 18YDL の場合は、P.25～P.28 を参照してください。

充電時間

BSL1450/BSL1850: 約 32 分

BSL1460/BSL1860: 約 38 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.22「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯あるいは点滅して、充電容量の状態をお知らせします。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点滅	0.5 秒点灯 / 1 秒消灯 	電池容量 50%未満
		青点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電池容量 80%未満
		青点灯	連続点灯 	電池容量 80%以上
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約 6 秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (断続ブザー音: 約 2 秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

USB 機器を充電する (UC 18YSL3)

●USB 機器の充電

⚠警告

- ご使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- ご使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YSL3 には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

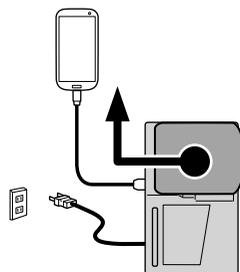
電源のない場所で当社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.33「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を低くしたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

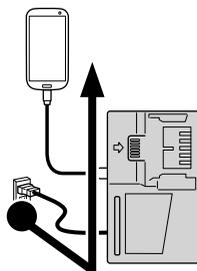
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

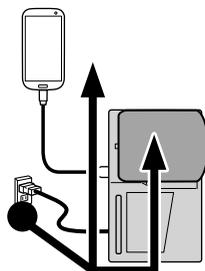
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電

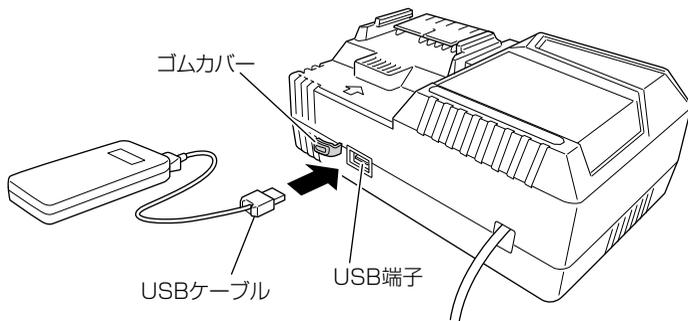


2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。

3 USB ケーブルを接続する

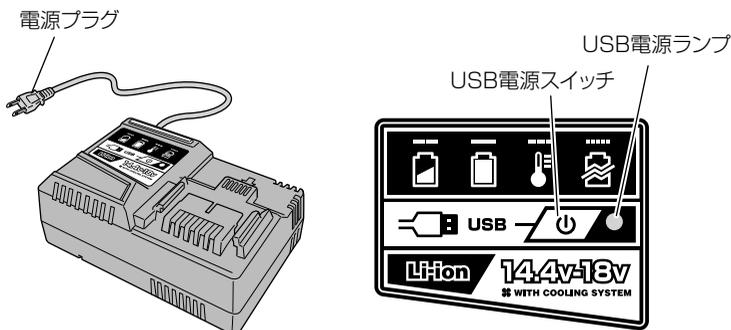
ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。



蓄電池を充電する (UC 18YDL)

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

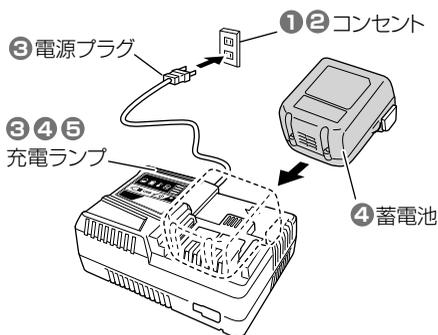
標準付属の充電器が UC 18YSL3 の場合は、P.21 ~ P.24 を参照してください。

充電時間

BSL1450/BSL1850: 約 25 分

BSL1460/BSL1860: 約 30 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.26「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯 / 0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯  (断続ブザー音: 約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

USB 機器を充電する (UC 18YDL)

●USB 機器の充電

⚠警告

- ご使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- ご使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

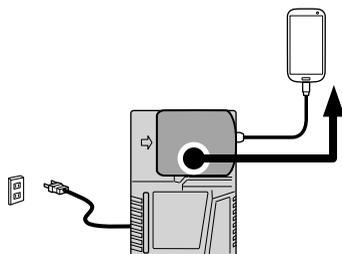
電源のない場所で当社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.33「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

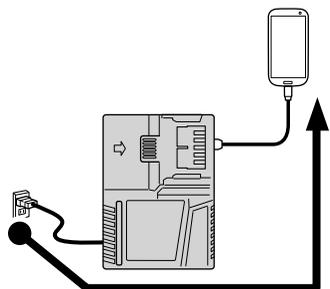
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

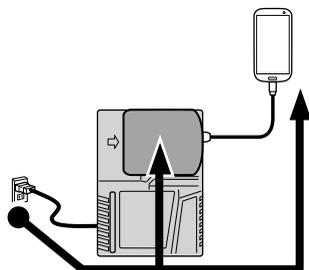
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電

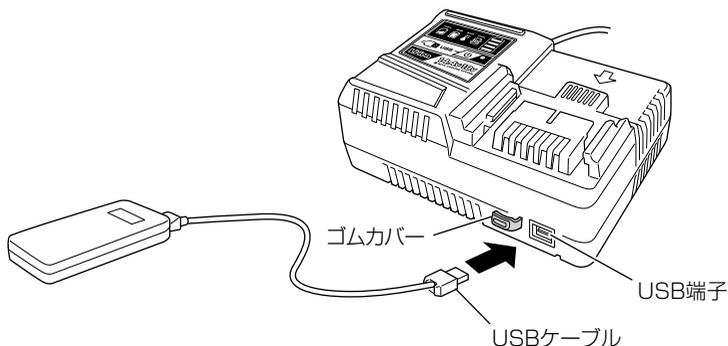


2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。

3 USB ケーブルを接続する

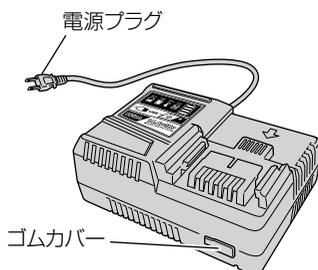
ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。



保守・点検

⚠警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。
感電やけがの原因になります。

●フィルタの手入れ

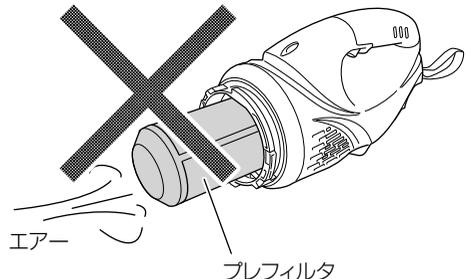
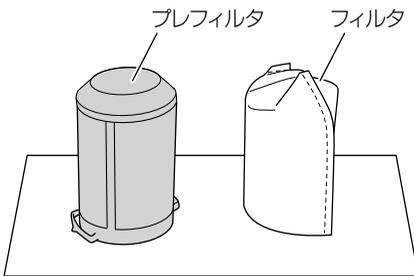
⚠注意

- 洗濯機で洗ったりしないでください。
- 熱湯で洗ったり、火で乾かししたりしないでください。

ごみを捨てた後でも吸込力が弱い場合は、プレフィルタおよびフィルタをはずして、軽くたたいてごみを落としてから、水またはぬるま湯（手に熱く感じない程度）で洗浄してください。（取りはずし方は、P.15「フィルタの確認」参照）

洗浄後は、陰干しにして完全に乾燥させてからご使用ください。

- 注**
- ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。
 - エアガンなどでプレフィルタ、フィルタおよび本体を掃除しないでください。本体内部にごみなどが入り込んでしまい、故障の原因になります。



●モーター部の取扱いについて

内蔵のモーター部 (P.9「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

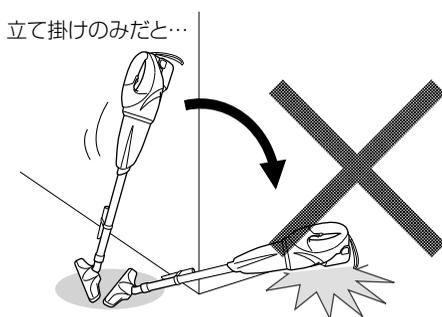
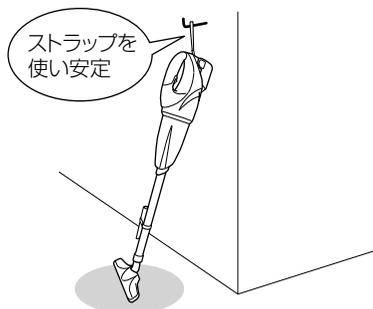
●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未滿で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。
立てて保管する場合は、ストラップを吊り金具などに引っ掛けてください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。
 - ストラップを使わず (固定しないで) 立て掛けて保管しない。
転倒して故障する恐れがある。



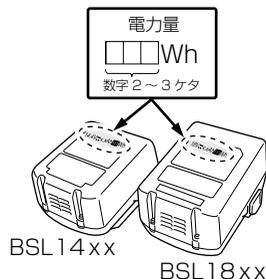
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

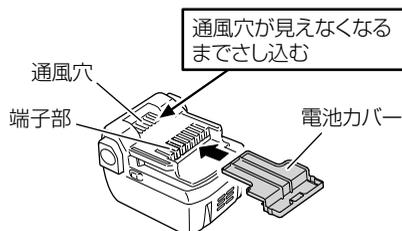


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池はコードレス工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

1. 工具体

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	スイッチを引いたまま、蓄電池を取付けた	安全機能が作動したためです。一度スイッチをはなして、もう一度スイッチを引けば動きます。
突然止まった	過負荷になった	ノズルにごみがつまったなどの、負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池が過熱状態になった	蓄電池を十分冷ましてください。
吸込みが悪い	ダストケース内のごみがいっぱいになった	ごみを捨ててください。
	ノズルにごみがつまった	ごみを取除いてください。
	ノズルや延長管の取付けがゆるい	しっかりと取付けてください。
	ノズルや延長管が破損、または割れている	新品と交換してください。
	フィルタやプレフィルタが目づまりしている	ダストケースを回して、防じんブレードでごみをかき落とすか、フィルタ・プレフィルタをはずし、軽くたたき、あるいは水洗いしてください。
排気や本体が熱い	ごみがいっぱいになっている。または、フィルタやプレフィルタが目づまりしているため、モーターが過熱している。	ごみを捨てる。または、フィルタ・プレフィルタを清掃してください。
異音・異臭がする	フィルタ、プレフィルタが正しく取付けられていないため、モータ部に異物が混入した	ダストケースをはずして、吸込み口方向を下側にし、軽く振って異物やほこりを取出してください。 異音・異臭が消えないときは、モーター破損の恐れがありますので、すぐに使用を中止して修理を依頼してください。

2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日影などで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品に変えてください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 充電を開始します。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>